

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和元年6月28日

那覇市長 殿



提出者

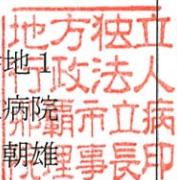
住所

氏名

那覇市古島2丁目31番地1

地方独立行政法人 那覇市立病院

理事長 屋良 朝雄



(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

098-884-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、平成30年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	地方独立行政法人 那覇市立病院
事業場の所在地	沖縄県那覇市古島2丁目31番地1
事業の種類	医療業
特別管理産業廃棄物処理計画における 計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	133.0t	全処理委託量	133.0t
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	133.0t
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	t
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分 を行いう 特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 感染性医療废弃物)

(単位:トン)

有 備 物 量
不要物等発生量

不要物等発生量
① 147.71t

排 出 量	実績値
① 147.71t	147.71t

項目	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立処分を行った量	自ら中間処理した量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量
①排出量	④	⑥	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
②+③自ら再生利用を行った量	0t							
⑤自ら熱回収を行った量	0t							
⑦自ら中間処理により減量した量	0t							
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t							
⑩全処理委託量	147.71t							
⑪優良認定処理業者への処理委託量	147.71t							
⑫再生利用業者への処理委託量	0t							
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t							
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	0t							

項目	自ら直接再生利用した量	自ら中間処理した後再生利用した量	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量
②	③	④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳	㉑

(第2面)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:引火性废油)

(単位:トン)

有価物量
不要物等発生量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

自ら直接埋立処分した量

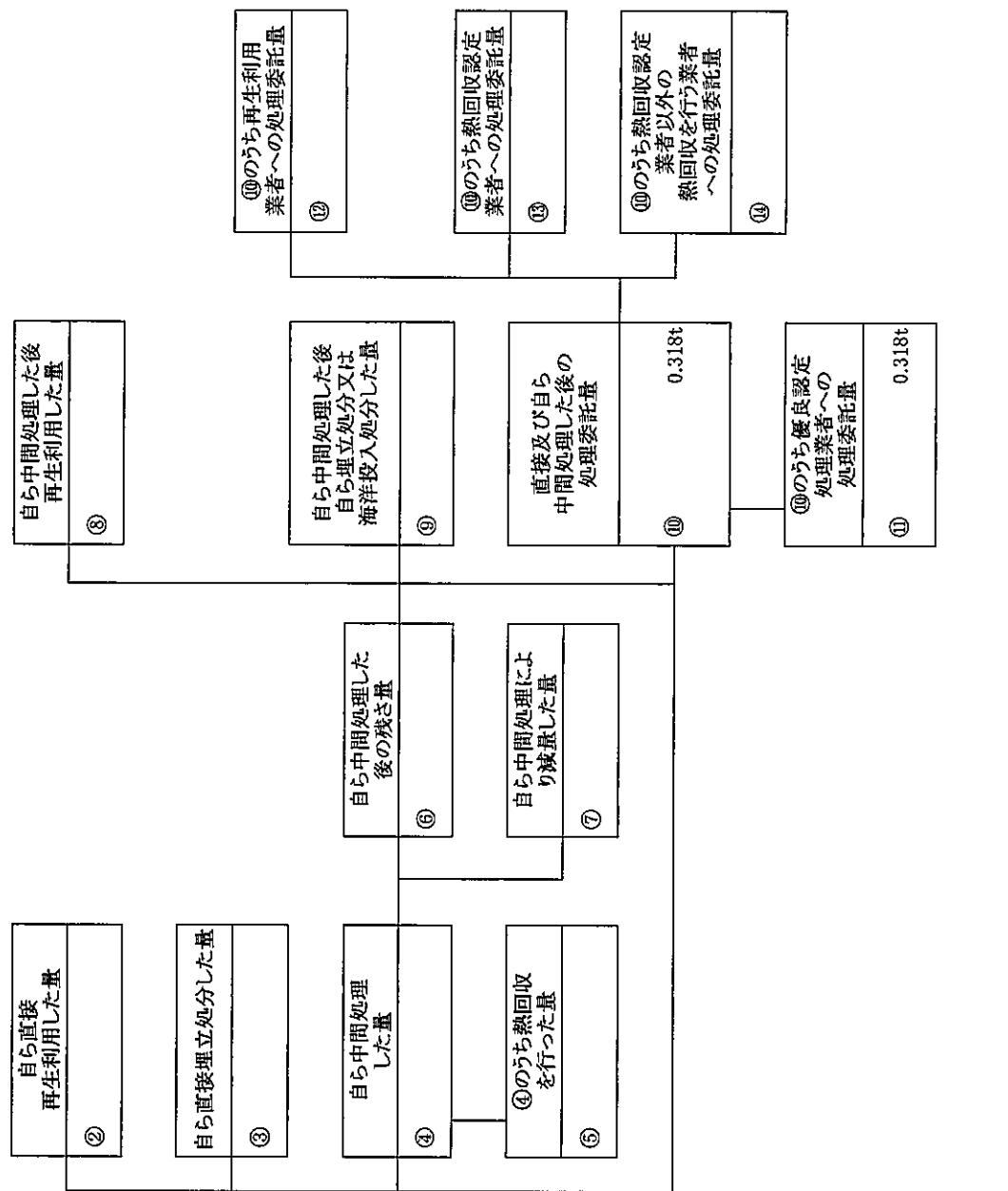
排出量	実績値
①	0.318t

自ら中間処理
した量

自ら直接埋立処分した量

項目	実績値	自ら中間処理 した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理した 後減量による量	直接及び自ら 中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理した後 再生利用した量	自ら中間処理した後 再生利用した量	自ら中間処理した後 再生利用した量	自ら中間処理した後 再生利用した量
①排出量	0.318t	④	⑥	⑦	⑩	0.318t	⑪	⑫	⑬
②+③自ら再生利用を行った量	0t								
⑤自ら熱回収を行った量	0t								
⑦自ら中間処理により減量した量	0t								
⑨自ら埋立処分又は海浜投入処分を行った量	0t								
⑩全処理委託量	0.318t								
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.318t								
⑫再生利用業者への処理委託量	0t								
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t								
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0t								

(第2面)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理について、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。